

2024年度 奈良女子大学研究スキルアップ経費  
(国際学会・国内学会等) 公募要領

1. 趣旨及び目的

本事業は、平成 22 年度に、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者養成システム改革加速」に採択され、平成 26 年度まで、文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者養成システム改革加速事業」として実施しました。5 年間の採択期間は終了しましたが、平成 27 年度以降は、本学独自予算にて継続実施しています。

本事業では、平成 27 年度以降も、本学の女性人材養成機関としての伝統を基盤とし、学長の強いリーダーシップの下で男女共同参画推進に係わる全学的な組織を維持推進し、次世代女性研究者養成拠点としての役割を果たすことを目的としています。

具体的には、「男女共同参画推進機構」に設置されている「ダイバーシティ研究環境支援本部」を中心として、理工農系等女性研究者の採用促進や、研究スキルアップをはじめとする研究者養成活動等の取組を実施します。(平成 28 年 4 月 1 日より、本事業を実施してきた「女性研究者養成システム改革推進本部」は、「女性研究者共助支援事業本部」と発展的に統合し、「ダイバーシティ研究環境支援本部」に組織変更されました。)

本公募は、外部資金獲得につながる最先端研究の情報や研究資金獲得のための情報・助言を得るなど、女性研究者の「研究スキルアップ」を推進する目的で、国際会議、国内会議、さらに共同研究などへの参加に係る費用を助成します。

2. 公募の概要

(1) 応募資格

既在籍女性研究者：研究を主体的に行っている常勤の女性教員（助教、専任講師、准教授、教授）。ただし、教授は、国際学会参加のみとします。

※ 選考・採択にあたっては、理、工、農、医・保健分野、若手教員を優先して採択いたします。

(2) 助成対象等

- ① 国外で行われる国際会議、国際シンポジウム、国際学会及び国際共同研究等への参加費及び旅費
- ② 国内で行われる国際会議、国際シンポジウム、及び国際学会等への参加費及び旅費
- ③ 国内で行われる会議、シンポジウム、学会及び本人のスキルアップにつながる講習会等への参加費及び旅費 ※学会主催のものに限ります。

※学会等への参加支援は、原則として申請者自身が発表する場合に限ります。

※学会等の参加費については、当該年度に開催され、当該年度内に支払うものに限ります。

※採択金額（上限）は、選考会議により決定します。

### (3) 助成対象期間

①②③とも、2024年6月1日（土）～2025年2月28日（金）を原則とする。

### (4) その他

- ・①②③のすべてに応募することは可能です。（教授は、①②のみ応募可能です。）
- ・近年、採択確定後に、支払い額の大幅な変更（例：旅費が先方負担になり、大幅な減額もしくは不必要になった）、および支払い対象の恣意的な変更などの問い合わせ（例：学生の旅費に流用可能か、当初計画していなかった前泊に利用できるか、など）が発生しております。利用計画および予算利用について、不適切もしくは不誠実なケースが発生した申請者に関しては、翌年度以降の採択に影響が出るかもしれません。慎重なご申請と運用にご協力よろしく申し上げます。

## 3. 応募方法・締切

必要事項を記入した応募申請書（①：研究スキルアップ経費応募申請書（国際会議参加支援（国外開催））、②：研究スキルアップ経費応募申請書（国際会議参加支援（国内開催））、③：研究スキルアップ経費応募申請書（国内会議参加支援））を、下記募集期間内に提出してください。なお、申請書はダイバーシティ研究環境支援本部ホームページからダウンロードして作成してください。（<https://gepo.nara-wu.ac.jp/keihishien/skillup/>）

参加費については、経費が記載されている資料を添付してください。

また、提出された申請書類は原則として返却しません。

募集期間：2024年5月1日（水）～2024年5月17日（金）正午まで（厳守）

## 4. 応募申請書類提出先

ダイバーシティ研究環境支援本部（j-kaikaku@cc.nara-wu.ac.jp）

申請書の電子媒体（エクセルファイル）をメールで提出してください。

## 5. 問い合わせ先

ダイバーシティ研究環境支援本部（G棟404）

TEL：0742-20-3344

E-mail：j-kaikaku@cc.nara-wu.ac.jp

## 6. 採択者の義務

採択された方は、次の事項を守って下さい。

- (1) 助成の辞退、変更が発生した場合は、直ちにダイバーシティ研究環境支援本部（j-kaikaku@cc.nara-wu.ac.jp）まで申し出ること。
- (2) 助成終了後、速やかに「研究スキルアップ経費成果報告書」を提出すること。
- (3) 可能ならば、助成対象の発表の際に、「奈良女子大学男女共同参画推進機構」の支援を受けたことを、Acknowledgment（謝辞）などで明示していただくこと。（例：This work was supported by the Organization for the Promotion of Gender Equality at Nara Women's University.）

## 7. その他

原則、年1回の公募になりますので、助成対象期間をご確認の上、ご応募ください。  
また、予算の都合上、採択されない場合や助成額を大幅に減額する可能性もありますので、あらかじめご了承ください。